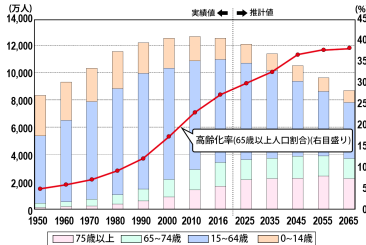


社会的な課題(進む高齢社会)



出典: 日本社会事業大学HP「福祉のみかた」
<https://www.jcsw.ac.jp/mikata/05.html>

高齢社会の到来とともに、加齢に伴う疾患が増加することが予測される。この問題への対応が社会的な課題となっている。

チームリーダー 上田修功
 客員主管研究員 井上治久
 客員研究員 山本拓也・今村恵子・近藤孝之・Knut Woltjen
 技師 永橋文子
 テクニカルスタッフ 江浪貴子・三宅美智世
 外部メンバー 竹内一郎TL・河原吉伸TL

チームミッション

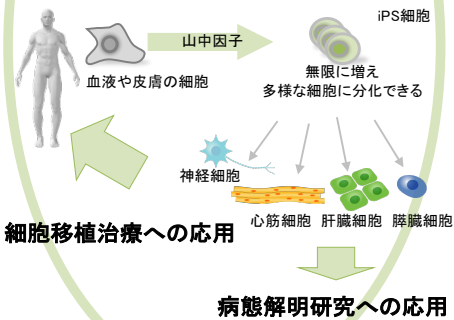
京都大学iPS細胞研究所 (CiRA) との連携により、

- A** 社会的急務となっている高齢社会で増加する疾患のリスク 予知・回避のための基盤開発
- B** iPS細胞そのものの安全性確保のための品質評価を支える基礎技術についての研究開発

最終的に、アルツハイマー病などの高齢社会で増加する疾患のリスク回避の可能性を向上や、移植医療用の高品質細胞の評価方法の確立をめざします。

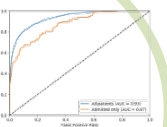
iPS細胞

皮膚や筋肉などの分化した細胞が、体の全ての細胞になれる能力をもつ未成熟な細胞へと、初期化できることの発見



AIの医学予測利用例

末期がん患者20万人分の電子カルテ情報から、予後の予測をすることにより、緩和ケアを適切なタイミングで導入する。



12か月後に患者が亡くなるかどうかを機械学習により予測した。

2017年Standord大学のチーム arXiv:1711.06402

取り組み

A 疾患リスク回避

高齢社会疾患iPS細胞の解析

B 高品質細胞の評価

